2014年度中期事業計画

特定非営利活動法人
十日町市地域おこし実行委員会

理念

① 池谷・入山地区の集落と農業の継続を実現しつつ、全国の過疎の集落が抱えている集落存続問題の成功例を示す。

② 持続可能な新しい村づくりを実践し、循環型の社会モデルを目指し100年持続させる展望を示す。

③ 地元住民だけでなく地域外の関係者も含めて、新しい村づくりを進める。

④ 相互扶助と心豊かな社会実現を目指す。

目的

1. この法人は、十日町市内の池谷・入山集落において都会からの後継者の定住を促進し、持続可能な集落モデルを自ら体現している地域を作り、全国に情報発信する事を通じて、全国各地の過疎地の集落で農業の後継者を増やし、持続可能な生活スタイルを実現させ、都市部に対しても安心・安全な食料や再生可能エネルギーの供給を行う事で日本全体を持続可能な社会にする事に貢献することを目的とする。

2. 持続可能な集落モデルとは以下のように考える。
   1. 物理的に生活が成り立つ状態
      （aある程度の現金収入とb生活に必要なものの循環・自給）
   2. お互いに顔が見える関係で助け合い、安心して楽しく生活ができる状態

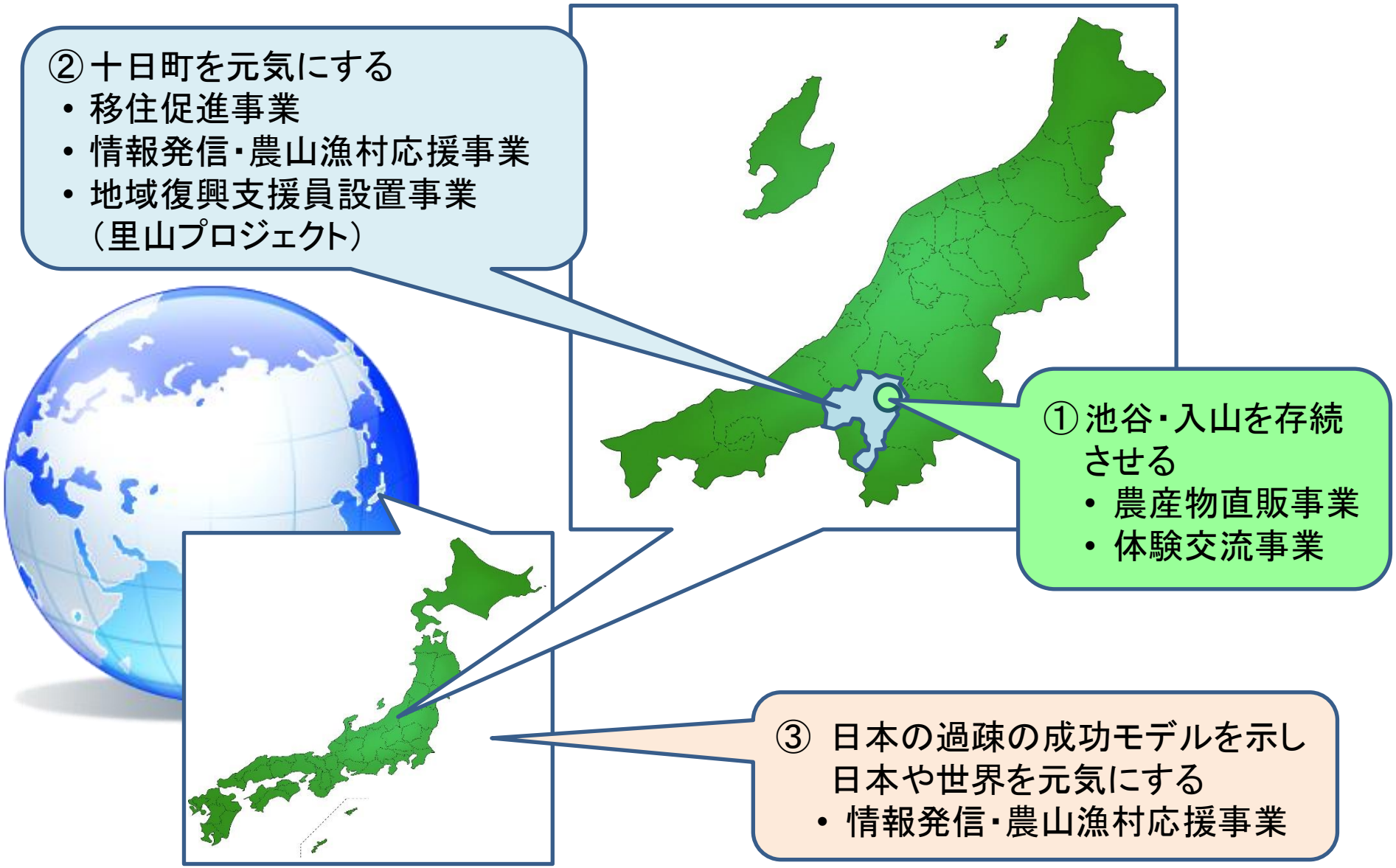
ビジョン

① 池谷・入山を存続させる

② 十日町を元気にする

③ 日本の過疎の成功モデルを示し日本や世界を元気にする

ビジョンから見た事業の区分



3年後の具体的な目標

- 池谷・入山集落の取組がモデルとして軌道に乗っている
  - 農地を組織として継承と発展（稲作従事者4名以上）
  - 加工事業の収益化（加工部門5名以上の体制で黒字化）
  - 移住者が子育てしながら生活できる収入の確保
- 十日町市全域で以下を担う地域おこし団体となっている
  - 移住促進・定住支援
  - 起業・継業支援
- 日本全国で以下の事を行う地域おこしの団体となっている
  - 地域おこし協力隊受け入れ研修（行政・地域・隊員向け）

3年後の姿を実現するために今年度行う重点事項

- 池谷・入山
  - 十日町市地域おこし実行委員会の農業参入
    - 農地の集約の受け皿に
    - 青年農業給付金受給者の準備型の研修後の就農先に
  - 組織として稲作技術の習得・向上
  - 加工事業立ち上げ
    - 販売先の目途をつける
    - 新商品の試作品完成
  - 池谷集落内に「めぶき」の建設
    - 新規移住者向けお試し住宅
  - 10周年記念誌の発行と記念イベント開催

3年後の姿を実現するために今年行う重点事項

- 十日町市全域
  - 移住促進事業（移住者誘致）
    - 移住相談会11回出展
    - インターンシップ20名の受け入れ
    - さとナビサイトの管理・運営
  - 起業・継業支援の準備
    - トオコンの運営委託を受けるための提案
    - 新潟大学の授業やふるさと回帰支援センターからの委託事業を通じて起業支援研修のプログラム開発
  - 里山プロジェクト（中山間地での仕事づくり）
    - 市内各地の中山間地での支援活動
    - 学校給食や市内飲食店・福祉施設等地産地消の取組を拡大
    - 地域おこし協力隊受け入れ研修の試行

目指す姿のイメージ

池谷・入山の取組をはじめとして市内各地でモデルを作る
中山間地の活性化モデルを広く発信する

移住者の促進
- インターン
- 地域おこし協力隊
- 新規就農
- 起業・継業支援

地域でまわる経済を作る
- 学校給食への出荷
- 市内飲食店への出荷
- 福祉施設への出荷
- 起業支援

外貨を稼ぐ経済を作る
- 農産加工品販売